

看護学科

●学科の教育理念と教育目的

看護学科は、医学・医療の高度化、急速な技術革新、疾病構造の多様化及び人口の高齢化に対応しながら、健康の管理と増進に寄与できる看護・保健の専門職の育成を目的に設置されました。

看護学科においては、学部の基本理念に基づき、看護・保健に関する高度の専門的知識と優れた技能を有する専門職者として指導的役割を担う人材を養成することを目的としています。

●学科のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、卒業時に必ず身につける能力)

1. 知識・理解

1-1)看護職者として、専門分野の学問内容や知識を修得している。

1-2)生命と人間に対する畏敬の念と豊かな感性を基盤とした人間理解ができる幅広い教養を身につけている。

2. 思考・判断

2-1)健康状態を科学的根拠に基づき理論的に判断し、健康の維持・増進と、健康障害の回復および終末期に応じた適格な看護判断と行動を示すことができる。

3. 関心・意欲

3-1)地域社会に貢献できる能力と関心の幅を広げ、実践を通して自らの成長と専門性を探究していくことができる。

4. 態度

4-1)地域住民の健康の維持・増進と健康障害からの回復に寄与するために、看護職者として自らの責任を認識し、その専門性を効果的に発揮し、予防的かつ総合的な観点から方策が提示できる。

5. 技術・表現

5-1)対象者に必要な看護ケアを、科学的根拠に基づき安全に実施することができる。

5-2)地域住民や患者・家族、保健・医療・福祉に関わる多領域の人々と連携し、協働することができる。

●学科のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

<知識・理解, 思考・判断>

入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

<興味・関心・意欲, 態度>

1. 人間が好きで, 生命に対する倫理観がしっかりしている。
2. 医学・医療に対する意欲や関心度が高く, この分野に貢献したいという目的意識と情熱をもっている。
3. 入学後も, 生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。

<技能・表現>

1. 幅広い人間性, 柔軟性と協調性を有し, 周囲の人と良好な関係を保つことができる。
2. 自分の考えや行動に責任を持ち, それを相手に明確に示すことができる。

●**学科のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針, カリキュラムの特徴・特色)**

看護学科のカリキュラムは, 1 年生から 3 年生前学期まで, 看護職者として必要な主要科目を講義や演習で学びます。入学後, 早期(9月下旬)に1週間の附属病院での実習(基礎看護学実習Ⅰ), 2 年生でも 2 月下旬に 2 週間の実習(基礎看護学実習Ⅱ)で看護の基礎的な知識・技術を修得します。そして, 3 年生後学期から 4 年生の前学期の約 6 カ月間は, 本格的に現場で学ぶ各論実習を行います。4 年生では死生学演習, 看護研究, さらに 4 年間の集大成としての統合科目や統合実習を行います。